

サステナビリティへの取り組み

琉球銀行は、「地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展に寄与する銀行」の経営理念のもと、地域社会の皆さまとともに、地元発展のため企業活動を行っています。

当行の営業基盤である沖縄県は、四方を海に、また豊かな森林やそこで生息する動植物など、多種多様な自然環境に恵まれ、観光業を中心に第三次産業を基盤とする経済圏を形成しています。

一方近年は、気候変動の影響を受け、沖縄県においても少なからず自然環境が破壊されています。2021年、IPCCにおける気候変動の自然科学的根拠を担当する第一作業部会（WG1）が公表した第6次報告書では「人間の影響が大气・海洋・陸域を温暖化させたことは疑う余地がない」と記載され、この気候変動は人為的な影響に基づくものだと断言されています。

私たち金融機関は、投融資を通じ様々な企業および個人の活動の原動力となっています。そこで、金融機関が温暖化抑制・廃棄物削減など環境に配慮した健全な投融資活動を行えば、環境保全に大きく貢献できる一方、配慮しなければ環境破壊を助長することになってしまうと考えます。

環境破壊は、観光業やサービス業などの第三次産業はもちろん、建設業、不動産業、製造業、農業、金融機関などにも波及し様々な企業や人々に多大な影響を及ぼします。

そこで私たち琉球銀行は、“地球環境の負荷軽減・再生”、“地域社会の発展、県民のより豊かな生活への貢献”を目標とし、地元の様々な企業や人々と協力しながら、環境と社会という密接に関連する2つの課題解決に果敢に挑戦してまいります。

サステナビリティ・ポリシー

- 私たち琉球銀行は、“地球環境の負荷軽減・再生”、“地域社会の発展、県民のより豊かな生活への貢献”を目標とし、その実現に挑戦してまいります。
- 金融機関として、地域環境や社会に与える影響を十分に踏まえ投融資活動を行っています。また、地域社会の発展は、沖縄県の企業・人々・自然など様々な豊かさを育む原動力になると考え、これまでにない新たな金融サービスを提供し地域発展に貢献してまいります。
- 実現に向けての要となるのはやはり人財であり、行員の専門性・課題解決力・リーダーシップの向上に向け尽力してまいります。さらに、成長した行員と地域の皆さまとの密な協働を通じ、地域社会の“仕事をこなす力”の向上にも貢献してまいります。
- 透明性のある健全な企業統治機能を備え、行員共々連携しながらこれらの活動を着実に進めていく所存です。

サステナビリティへの取り組み

＜最近の主な取り組み＞

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



■ 「サステナブルファイナンス・フレームワーク」の策定および 新商品の取り扱い開始について

2023年9月に、サステナブルファイナンス・フレームワークを策定いたしました。フレームワークの策定に伴い、対象となる「りゅうぎんグリーンローン」「りゅうぎんソーシャルローン」「りゅうぎんサステナビリティ・リンク・ローン」の3商品の取り扱いを開始しました。今回策定したフレームワークおよび3商品は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国際的な原則や国内のガイドラインに整合的であるとの評価を取得しています。

気候変動問題、少子高齢化や人口減少による地域活力の低下、事業後継者不足による廃業の増加など、環境・社会的な課題が地域の持続可能性を脅かすものとなりつつあります。琉球銀行では本商品を通じて、お客さまの環境・社会的な課題解決に向けた取り組みや持続可能な地域社会の実現に向けた取り組みを支援します。

サステナブルファイナンス・フレームワーク

＼新商品の取り扱い開始／

りゅうぎん グリーンローン	りゅうぎん ソーシャルローン	りゅうぎん サステナビリティ・ リンク・ローン
<ul style="list-style-type: none">● 対象 環境改善活動● 資金用途 特定型 グリーンプロジェクト への事業資金	<ul style="list-style-type: none">● 対象 社会課題解決● 資金用途 特定型 ソーシャルプロジェクト への事業資金	<ul style="list-style-type: none">● 対象 SDGs・ESGの 取り組みの高度化● 資金用途 不特定型 事業資金 (運転資金、設備資金)

● 融資金額 **3,000万円以上**

琉球銀行

■環境に配慮した店舗



環境に配慮した店舗づくりに取り組んでいます。

認定種類	GHG削減率	拠点名	竣工時期
Nearly ZEB	76%	本部支店	2018年10月
ZEB Ready	64%	浦添支店・牧港支店	2021年10月
ZEB Ready	66%	北谷支店	2022年8月
ZEB Ready	51%	具志川支店	2022年8月
ZEB	100%	諸見支店	2024年度予定
ZEB Oriented	45%	本店ビル	2025年度予定

※ZEB：ネット・ゼロ・エネルギー・ビル



浦添支店・牧港支店



北谷支店



具志川支店



2025年度に竣工予定の新店ビル



■Ryukyu net ZERO Energy Partnership (ZEP Ryukyu)

2022年9月にZEH・省エネ住宅建築に携わる事業者の連携体制として構築した、「Ryukyu net ZERO Energy Partnership (リュウキュウ ネット ゼロ エネルギー パートナーシップ、ZEP Ryukyu)」において、ZEH・省エネ住宅建築に係るノウハウの向上のため、セミナー開催等を通じZEH・省エネ住宅建築に係る支援を行っています。(加盟事業者数：101先/2023年9月30日時点)

事業者向けセミナーの開催

- ・目的：県内事業者のZEH・省エネ住宅建築に係るノウハウ共有のため
- ・参加者累計：148名
- ・セミナー実施回数：3回

<セミナー内容>

ZEH・省エネ住宅の基礎知識、沖縄県における建築物省エネ法など

※ZEH：ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス



セミナー風景

サステナビリティへの取り組み



■ ESGを勘案した投融資活動等

気候変動をはじめとしたESG課題の解決に資する商品・サービスの取り扱いを拡大していきます。

法人のお客さま向け商品・サービス	<ul style="list-style-type: none"> ●「SDGs応援サービス」(取り組み状況の診断や宣言書発行など)によるSDGsへの取り組みサポート ●「りゅうぎんSDGsローン」による融資実行総額の0.10%相当分を世界遺産(首里城復興、やんばる・西表島)の管理団体等へ寄付 ●「りゅうぎんECO POWER」(資金使途:気候変動対策に資する設備資金)による融資金利優遇 ●環境省「地域脱炭素融資促進利子補給事業」に基づく融資 ●りゅうぎんグリーンローン、りゅうぎんソーシャルローン、りゅうぎんサステナビリティ・リンク・ローンの取り扱いを開始
個人のお客さま向け商品・サービス	<ul style="list-style-type: none"> ●投資信託「グローバルESGバランスファンド」の信託報酬の一部を沖縄県が実施するSDGs関連事業に寄付 ●「ZEH」や「BELS」認定等を受けた物件を対象に住宅ローン・アパートローンの金利優遇。資金使途の拡大(中古住宅・マンション取得資金、改装資金)
投資活動	<ul style="list-style-type: none"> ●地球温暖化対策や再生可能エネルギーなど、環境保全に取り組む資金を調達するために発行されるグリーンボンドへの投資 ●当行を含む沖縄県内企業で組成された琉球ファンド(運営:株式会社琉球キャピタル)への参画・出資(コロナ禍における資本支援を中心に円滑な事業承継や中長期的な事業拡大に資する県内企業への資金供給を担っている) ●「BORベンチャーファンド2号投資事業有限責任組合」(運営:株式会社琉球キャピタル)の設立

■ 文化振興



りゅうぎん紅型デザインコンテスト／りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業

伝統文化支援事業として、毎年「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」を開催しています。

沖縄県の伝統工芸である紅型の技法を踏まえながら、紅型デザインの向上を図る「創造的な場」を紅型作家や愛好家に提供することを目的としています。

また、600年以上の歴史がある、漆芸の技術伝承を支援する「りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業」を実施しています。博物館や美術館に所蔵されているような、製作するにあたり高い技術が必要となる琉球漆器の復刻を通して、沖縄県の伝統工芸である「琉球漆芸」の技術伝承や、産業継続の支援を目的としています。



りゅうぎん紅型デザインコンテスト



りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業

■ 地域支援

りゅうぎんユイマール助成会／一般財団法人りゅうぎん国際化振興財団



「りゅうぎんユイマール助成会」は、1993年に琉球銀行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に募金を募り、さらに同額を銀行が寄付することで財源をつくっています。地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、「一般公募助成金」や「子ども居場所づくりイベント事業助成金」など、これまでの助成件数・金額は1,482件、2億5,106万円となりました。(2023年9月30日時点)

また、一般財団法人りゅうぎん国際化振興財団では、返還義務のない奨学金を給付する「りゅうぎん海外留学支援事業」や国際化事業・活動に携わる団体へ助成金を交付する「助成事業」を行っています。



りゅうぎんユイマール助成会
一般公募助成金



りゅうぎんユイマール助成会
子ども居場所づくりイベント事業助成金



一般財団法人りゅうぎん国際化振興財団
助成事業



■ 女性活躍推進企業として「えるぼし認定」の最高位3つ星を取得

女性の職業生活における活躍推進に関する取り組みが優良な企業として「えるぼし認定」の最高位である3つ星を取得しました。

「えるぼし認定」とは、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づき、一定の基準を満たし、女性の活躍促進に関する状況などが優良な企業を認定する制度です。女性が能力を発揮しやすい職場環境であるかという観点から、①採用、②継続就業、③労働時間等の働き方、④管理職比率、⑤多様なキャリアコースの5つが評価項目として定められています。今回、琉球銀行は、上記5項目においてすべての基準を満たし、最高位である「3つ星」の取得となりました。

◆評価対象5項目における琉球銀行の取り組み実績（2022年3月末時点）

項目	取り組み実績
採用	正社員に占める女性比率：48.4%
継続就業	男女別の平均継続勤務年数 女性の平均継続勤務年数：16.6年 男性の平均継続勤務年数：17.6年
労働時間等の働き方	時間外労働と休日労働の合計が、すべての雇用管理区分で毎月すべて45時間未満
管理職比率	管理職に占める女性労働者の割合：23.0% (産業平均14.1%)
多様なキャリアコース	通常労働者への転換：42人 おおむね30歳以上の女性の通常労働者としての中途採用：5人

